



きいたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
(ウェブサイト) <http://www.kiitaka.net> (メールアドレス) smai@kiitaka.net

地元北九州市を代表して、党政調会長代理、党広報本部副本部長、国土交通委員会委員、憲法審査会委員として活動

北九州市の声をもとに国に改善を促す 民主党政策課題

皆さん、こんにちは。
衆議院議員のきいたかしです。

12月10日、第210回臨時国会が会期末を迎えるました。土曜日に本会議で閉会手続きを行うのは約29年ぶりのこととなりました。

国会では、国土交通委員会で知床遊覧船事故対応や港湾の脱炭素化について私から対応提案などを質しました。憲法審査会では自由討議と参考人質疑が行われ、各党や専門家の意見を傾聴しました。

党務では、政務調査会長代理、広報本部副本部長、子ども若者応援本部副本部長の仕事が中心でした。

政務調査会長代理としては、立憲民主党の緊急経済対策の取りまとめ役にあたりました。岸田政権の補正予算は新規国債を22兆円も発行、すぐには使わない基金8.9兆円や予備費4兆円など「見せ金」が目立ちました。

それに対し立憲民主党では、年度内に使う分だけを計上した7.2兆円の緊急経済対策を提示し、「物価高対策・コロナ対策など「現場ニーズも即効性もある政策」や「省エネ投資など将来への先行投資につながる政策」を中心に、国会審議に臨みました。

立憲民主党が主導して8項目にわたる「政策テーマ別野党協力」も行いました。野党が結束して政府・与党に対峙することで、具体的に8つの大きな成果を挙げました。国民の暮らしや職場を守り支えるために、今後も政策提案を主導しながら政策テーマ別の野党協力を重ねます。



岸田政権は防衛費 GDP 比2%以上を目指にした増税を打ち出しました。旗印にしていった所得倍増や子ども関連予算倍増は影を潜めました。従来の手立てでは足りない部分が我が国の備えにはあるため、必要な防衛費の確保は否定しません。しかし使途がわからずムダ遣い見直しが不十分な中での政府の言い値による予算増額や増税は認められません。本当に必要な防衛力強化について十分な国会審議が必要です。

物価高、コロナ禍、低賃金、年金減少という生活氷河期ともいいく国民生活を覆う四重苦の状況は改善できていません。国が支えるべき国民生活への対応の優先順位を上げるべきです。

応能負担を徹底しながら機会の均等と社会保障の安定化を図ること、日本の新たな発展の礎としての科学技術や研究者を徹底支援することなど、国民党として、次の与党を担える野党第一党として、来年の通常国会に向けて徹底的に取り組みを強めています。

新しき年に向けても、倍旧のご支援をお願いいたします。

衆議院議員 きいたかし

「政策テーマ別野党協力」8つの成果

成果1 旧統一教会の被害者救済

旧統一教会の被害者救済法案を提出(立憲・維新)、政府の救済法案が与野党協議を経て修正・成立。

成果2 通園バス置き去り防止法案

子どもの命を守る通園バス置き去り防止法案を提出(立憲・維新・共産)、令和5年度予算化を実現。

成果3 国会法改正

20日以内の国会召集を義務づける国会法改正案を提出(立憲・維新・共産・有志・れいわ・社民)。

成果4 10増10減法案

10増10減を盛り込んだ公職選挙法改正案を作成、政府案提出を促し成立。

成果5 若者・子育て支援

子ども若者緊急支援を軸とする補正予算組替え動議を提出(立憲・維新)、子ども若者緊急支援法案を提出(立憲・維新)。

成果6 (旧)文書通信交通滞在費法案

使途報告・公表を定める(旧)文書通信交通滞在費法案を国会提出(立憲・維新)。

成果7 北朝鮮のミサイルへの対応

北朝鮮ミサイルへの対応のため衆院連合審査会の開催を実現。

成果8 感染症法等改正案の対案・関連2法案

新型コロナ対応改善へ感染症法等改正案の対案・関連2法案を提出(立憲・維新・社民)、政府案の3項目修正を勝ち取る(新型コロナの罹患後症状の医療、予防接種の有効性・安全性の情報の公表、いわゆる公費負担を踏まえた2類5類の見直し問題等についてあり方検討)。

きいたかし 第210回臨時国会で賛否結果

内閣提出法案・条約の賛成率100%

	成立	賛成	反対	賛成率 100%
閣法	21	21	0	
条約	1	1	0	
	提出本数	成立	うち 委員長提案	
議員立法	14	6	6	
	提出本数	成立	うち 委員長提案	

第210回臨時国会での立憲民主党の内閣提出法案等への賛否結果、提出議員立法の結果をまとめました。

内閣提出法案や条約は全て賛成、第二次補正予算は組替え動議を出して反対。議員立法は6本が成立しました。

問題がある場合は対案を示して議論した上で反対、賛成する場合でも残る問題点を附帯決議で改善への国会の意志を提示、とのスタイルで引き続き努力します。



衆議院議員 きいたかし (城井 崇) のプロフィール
地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17、21年衆院選で当選(現在4期目)。文部科学大臣政務官、予算委理事、国土交通委理事、文部科学委理事等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会委員、憲法審査会委員。党政務調査会長代理、広報本部副本部長、子ども・若者応援本部副本部長、政策課題発掘チームリーダー、福岡県連代表、福岡県第10区総支部長。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン、焼肉、焼きカレー。

